学生×企業　協創プロジェクト

DTMを使って、SDGsを
テーマとした曲を作ろう！

Aチーム







１．なぜこの企業テーマを選んだのか
学校のオロクエという総合探求活動があり、私たちは、主に軽音部で集まっていたこともあり、音楽をテーマとした探究をしたいと思いました。その時に、学校の先生から、このプロジェクトを伝えられ、DTMオキナワが、私たちの探究テーマに共通している部分が多いと感じたからです。

２．プロジェクト概要
偏見や差別が未だに残る現代社会において、他人やみんなと違うことを理由に、誰かが苦しんだり悩んだり不当な扱いを受けてしまう場面が多くあります。
この理不尽極まりない状況を未来永劫根絶することを目的としてSDGsを織り交ぜた楽曲を製作しました。

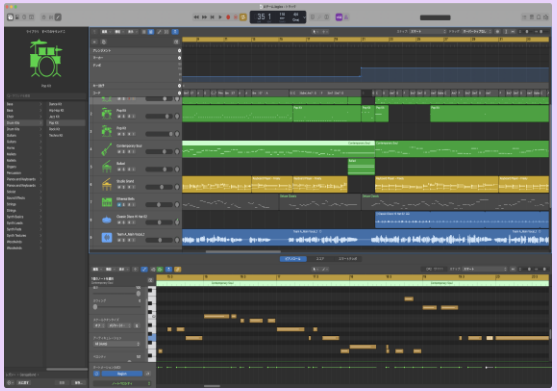
3．プロジェクト結果

完成した楽曲：『霞んだ夕日、輝いた君』
静かでゆったりとしたテンポから、サビにかけてテンポをあげ、自分らしく生きる事へ一歩踏み出す勇気を表現しました。

製作プロセス・役割分担：
歌詞のキーワードを付箋に出し、そのキーワードから得られるイメージなどをもとに歌詞を作成、作成した歌詞からメロディを考え、DTMの作成、ボーカルの録音など、メンバーで役割を分担しつつ、互いを助け合い制作しました。
歌詞の工夫：なにか悲しいこと、辛いこと、苦しいこと、人には言いたくないことなど誰にでも事情があります。そのような中で少しでも元気づけることのできる曲が出来ればいいなと考え、楽曲を制作しました







４．プロジェクトを通じた気づき（現場でわかった課題）

SDGsというテーマを、歌詞に、メロディーに落とし込むという作業の中で、SDGsの目指す平等を理解する事ができました。
5番、10番、16番を軸として歌詞作りをしました。自分がどんな言葉をかけられると嬉しいかなどを、客観的に考えて工夫しました。
心に寄り添う歌詞を重点に制作した事によって、SDGsの言葉といった直接的なワードを含むことができなかったのが課題だと感じます。

５．今後の展望

今回のプロジェクトの経験を通して、今後DTMを使った作曲活動を行い、自分自身のメッセージを、曲にして、世界に発信していこうと思います。その中でも、今回作成した楽曲のような、SDGsを扱った曲や、沖縄を扱った曲も発信し、より多くの人に、SDGsへの認知・理解を広げていきたいと思います。